

第16回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和5年6月5日(月)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：長江委員、鈴木委員、吉田委員、近藤委員、稲葉委員、森本委員、内記委員、水野(豊)委員、加知委員、加藤委員、前田委員、杉村委員、東山委員

事務局：教育長、副教育長
教育推進課 南谷、田中、福岡
教育総務課 市川、高田、中島、瀬瀬
教育研究所 久野

【欠席者】

委員：水野(雅)委員

(要点筆記)

開会	
会長	・第16回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・本日はお忙しい中第16回目の研究会にお越しいただき誠にありがとうございます。市長選挙で新たに高木市長となりましたが、笠原小中学校の建設は引き続き政策の目玉の一つとなっています。今年度につきましては、笠原小中学校の実施設計を完了し、小学校の仮設校舎を建設するとともに、3月末に引っ越しをします。教育委員会と笠原小中学校の職員で構成されたワーキンググループごとに、教育目標や教育課程、制服等の検討をしています。いずれにしましても笠原の昔からの伝統である幼保小中一貫教育があつての学校ですので皆様の意見を伺いながら特色のある学校にしていきたいと思います。どうか一年間よろしくお願いいたします。
次第2 自己紹介	
会長	・新任の委員の方もいらっしゃいますので順番に自己紹介をしていただきたいと思います。 (委員・事務局自己紹介)
次第3 現在の進捗状況について	
会長	・次第3「現在の進捗状況」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)
事務局	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・こども園の工事も今年度から動き出しますか。
事務局	・子ども支援課の所管となりますが、着手の方は小中学校よりも後にな

	っていますので、これから設計に入っていきます。こども園の開園は令和8年4月で小中学校と同様のため、これから追い上げて説明会等行っていくことと思います。
委員	・以前は2階で粘土作業をするというお話でしたが、今回の説明では1階のセラミックアートテラスで粘土作業をするように部屋の配置換えがされたということでしょうか。
事務局	・セラミックアートテラスの左側の机が粘土作業もできるスペースで右半分は吹き抜けとなっています。陶芸の窯はセラミックアートテラスの横にあります。2階から1階へ移動したのは粘土等重いものを運ぶためという理由もありますが、武道場の天井高を少し高くして、武道だけでなくバドミントンにも使用できるよう工夫しました。
委員	・子どもがソフトテニスをしているのですが、新校舎のどこに作るのでしょうか。
事務局	・テニスコートは現在の幼稚園敷地が空きますので、そこへテニスコート等を持っていきたいと思っています。テニスコート等の整備は令和8年中になり、令和8年4月の校舎の完成時には間に合いませんがご理解をお願いいたします。
委員	・給食は給食センターで作られるということでしょうか。
事務局	・はい。多治見市では小泉小学校建設以前に、調理場は施設が古いことや調理員の確保ができず維持が大変ということで集約化するという方針になりました。そのため、小泉小学校も調理場を作らず、笠原小中学校も調理場は作らないということで決まっています。
委員	・どこの給食センターになりますか。
事務局	・昭和小学校の中に調理場がありますのでそこから運んできます。
委員	・学校敷地内への導線は幼稚園の方への一方通行なのか、現在のように来た道に戻れるものかどちらですか。
事務局	・工事の進捗等に合わせ幼稚園と打合せをしながら導線を決めていきたいと思っています。
委員	・幼稚園側から通行する場合はとても狭い所なので、安全を意識して導線を決めていただきたいです。
事務局	・かしこまりました。
委員	・今までの卒業生たちの作品や記念の物は取り壊されるのでしょうか。
事務局	・取り外しの際に壊れてしまい移設ができないものもありますので、地域の方々にお話を伺いました。その際にアドバイスをいただき、壊す前に周知をして、記念に写真撮影等できるような方策を考えています。
委員	・中学校の校舎もいずれ取り壊すので、作品等が無くなってしまいますね。
事務局	・今後の地域利用はまだ決まっていますが貸したり売り渡したりとなると整理することになると思います。

委員	・ 記念のものを全部ではなく一部を切り取ってどこかに置いておくということはできないのですか。
事務局	・ 検討はしましたが、移設場所がないということと全体として作られている作品の一部を切り取るということは難しいと思っています。取り壊しありきで考えてはいませんが、費用の問題等全体を見て決定させていただきます。
次第 4 校歌・校章等について	
会長 事務局	・ 次第 4 「校歌・校章等」について事務局に説明を求めます。 (事務局報告)
会長	・ 只今の報告について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 校歌の件についてですが、昨年から出ていましたがサトウアズサさんの案はないのですか。
事務局	・ 笠原在住であり、講座も笠原で何度か開催されているということを考慮しまして、カノウさんを挙げさせていただきました。
委員	・ 学年の区切りですが、3 つに分けるイメージなのか 2 つでもいいのかどうなのでしょう。
事務局	・ 9 年間の子どもたちの成長を基に区切るタイミングを考えた結果、小学校高学年での学習の難しさや、教科担任制を中 1 より前倒してできる柔軟なカリキュラムを組みやすいということで 4-3-2 と 3 つに分ける考えでいます。
委員	・ 区切りをつける理由はありますか。
事務局	・ 中 1 ギャップを緩和しスムーズな対応ができるということで、先進地の多くで採用されています。もちろん市によっては 4-3-2 で上手いかず 3-3-3 や 5-4 にしているところもありますが、多治見市としてはワーキンググループでの検討の結果、4-3-2 で区切る考えでいます。
笠小校長	・ 校長ワーキンググループについてですが、初等中等高等と 4-3-2 に分けることで子どもたちの発達段階に応じて願う姿像が作りやすいのではないかとすることがあり、4-3-2 でやってみようと考えています。その中身として子どもたちにどんな姿を願うのかというところを検討している段階です。
委員	・ 初等や中等、中等や高等になる際にセレモニー等があるのですか。
笠中校長	・ まだそこまでは考えているわけではありません。ただ 6 年生から 7 年生になる際に進級式をやることもあるでしょうし、制服を何年生から着るのかという所も含めてこれからしっかりと検討していきます。成長過程に合わせて考えると、教員にとっても、子どもたちにとっても 6-3 の大きな区切りではなく、成長過程に見合った 4-3-2 が適しているのではないかと考えています。

次第 5 検討状況について	
会長	・ 次第 5 「検討状況」について事務局に説明を求めます (各ワーキンググループ検討状況について説明)
会長	・ 只今の報告について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ ワーキンググループには保護者の意見を聞く場所や方法がありますか。
事務局	・ 教頭ワーキンググループでは、P T Aやコミュニティスクールが地域や保護者の皆様の意見を吸い上げる場になってくるのでそちらで意見を伺うことになります。
委員	・ むやみやたらに意見をくださいというのではなく、議題があつてそれについての意見を求めるなど、保護者や地域の方が考えやすく、意見を出しやすいよう丁寧に進めていき、とにかく保護者や地域の方が分かりやすく事務局は説明してほしいと思います。
委員	・ 日課表の案を見ると小学生の下校時間が遅く冬場は不安です。中学校と日課を合わせるのはどうしてでしょうか。
事務局	・ 合わせたいところは給食の時間で、配送と回収の時間が給食センターの都合上合わせる必要があります。下校の時間についてですが、いただいた意見をワーキンググループに持ち帰り、調整できるところは試みていきたいと思います。当然場所が変わるので、通学時間も変わってくることを考慮しなければいけないと分かりました。貴重な意見をありがとうございます。
笠小校長	・ 1、3、5 時間目のスタートを揃えてあるのは何が良いかというと、先生同士のやり取りができ、揃えてあることで小学校の先生が中学校に、中学校の先生が小学校の授業を行えるということです。専門の授業の先生の行き来を可能にすることができます。
委員	・ 標準服や鞆等の持ち物、通学路については保護者の間でも話題になっており不安に思っているのも、それらが決定する予定を周知していただくと不安が軽減されるのではないかと思います。
事務局	・ アンケートについては夏に作成し、夏休み明けに実施できるようにしたいと思います。様々な意見が出てくるとしますので、それを基に、変更等ある場合については、そのモデルを示しながら決定していくことになります。今年度中にはある程度のものをお示し出来たらと考えています。
委員	・ アンケートはどの範囲で行いますか。
事務局	・ 小学校、中学校それから幼保まで幅を広げるのかはワーキンググループに持ち帰って検討したいと思います。
委員	・ 今まで出てきた意見は保護者の視点で不安な部分だと思うので P T Aの本部役員会などでも説明していくと保護者も安心するのではないかと

	思います。少しでも保護者の方の心配がなくなって令和8年に開校ができるよう願います。
次第 6 その他について	
会長 事務局	・ 次第 6 「その他」について事務局に説明を求めます (事務局説明) ・ 次回開催：9月頃（事務局より決定次第連絡）
副教育長挨拶	
会長 副教育長	・ 最後に、副教育長よりご挨拶を願います。 ・ 皆様本日はありがとうございました。研究会なので、たくさんの意見を出し合い、少しずつ形になっていけば良いのではないかと思います。先ほど3つの区切りということで話題になりました。私は中1が4-3-2の3の最後の部分に位置付くことが非常に大きいと思っておりまして、通常であれば中学校になり仕組みが大きく変わる中で、義務教育学校では3の最高学年を中学1年生で過ごすことで、中1ギャップの解消や、中学2・3年生でこんな学校のリーダーになりたいと思いを膨らませるいい時間になると考えました。皆で作っていく皆の学校なので、これからもご意見のほどよろしく願いいたします。
閉会	
会長	・ 以上で、第16回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。

—以上—